

傍聴席から一言



東 隆文 氏
(和水町前原)

3月の選挙後、議員さんも入れ替わってから最初の議会が6月に開催されました。和水町も合併5年目を迎えさまざまな問題、課題がある中の活発な議会を初めて傍聴いたしました。その後、突然この様な寄稿依頼があり困惑しながらペンを取っている次第です。

はじめて見た議会会場は、議員の方々が一般質問で多くの内容を緊張感漂う中で活発に議論されてました。私は、PTA会長という立場で今和水町の大きな課題となっている「小中統廃合問題」が本当にどうなっているのか？を知りたくて他のPTAの方と傍聴したのですが、一般質問が9名の議員さんから出

されており、中でもやはりこの学校関係問題についての質問が一番多く9名中6名の方から質問されてた位です。

私は、半日のみの傍聴でしたが、一部の議員さんの質問しか聞くことが出来ませんでした。教育長の返答の中で「菊水地区でのこの問題は平成17年から6年が経ち、合併特例債の期限からしても26年度には完成しなければならぬので本年度中には場所の決定が必要」と等と返答されました。

私個人、場所においてはいろいろな話を耳にすることがありましたが、実際のところ未だ決定していないということが執行部からの説明で事実として確認出来ました。では一体本当にどうなるのか？と頭を過ぎたのも実感です。またこの用地に関する予算が一億弱の数字で通りました。この額も毎年予算が出ておりますが、今回特に数字が増えているのはどうしてなのか？よく解らず傍聴しておりました。ご存知かと思いますが、6月末

に各小中学校のPTA代表をはじめ町内から45名ほどで「学校統廃合推進委員会」という組織が行政指導により立ち上げられます。我々PTAの者がこの統廃合に協力することは当然必要ですが、建設地の選定や莫大な費用の掛かることです。この大きな問題に委員会の一員として係り合うことに責務と重圧を感じ傍聴した次第でした。

この学校問題は、子どもたちの未来のことだけでなく、率いては和水町住民の将来にも重要な課題だと思えます。町民の代表の議員の皆様には、和水町が町民にとって住みやすい良い環境で、皆が喜ぶ町・町外の人が住みたくなる町になる為にもこの問題だけでなく多くの課題に、しっかりと目を向けて改善していくて欲しいと思えます。又、私たちも一緒に住みやすい町創りに関心を向け、その声が議員さんらを通じ町政に届くようにする協力も大切と思えます。これが私の傍聴初体験の感想です。

編集後記



政局も混迷する中、和水町に於いては町議会議員選挙と同時に、町長選挙も行われ町民の信任を受け町議14名が誕生いたしました。再任されました坂梨町長ともども和水町の未来永劫を築くため一丸となって頑張っております。町民の皆様に於かれましては、梅雨時期のうっとうしい日々を過ごされ、農業に於いては田植えの時期で大変お忙しいことと存じます。更に宮崎県を発祥とする口蹄疫の猛威の中、和水町もいち早く県と連携し畜産農家への

対策を講じてまいりました。さて、議会におきましては6月の定例議会にて町長の所信表明演説、22年度一般会計補正予算など17議案と報告6件が提出され、それぞれ全会一致または賛成多数で可決いたしました。請願、陳情4件は、採択2件、不採択1件、継続審査1件となりました。

一般質問については9名の議員による討論が成され、傍聴席も初議会ということも多くの方の町民の方に傍聴頂きました。まだまだ今から夏本番を迎えます。町民の皆様、健康に留意されますよう祈念申し上げ、編集後記といたします。

編集副委員長 豊後 力

編集委員

委員長	小山 暁
副委員長	豊後 力
委員	荒木 拓馬
委員	松村 慶次
委員	中村 一博
委員	蒲池 恭一

議会のうごき

ACTION

4月

- 1日(木) 和水町子育てひろば開所式
- 23日(金) 平成22年第2回臨時会
- 27日(火) 玉名郡議会総会
(玉名振興局)

5月

- 17日(月)～19日(木)
全国正副議長研修会
(東京都 メルパルク)
- 21日(金) 議会全員協議会
- 26日(水) 県町村議会議長研修会
(県市町村自治会館)

6月

- 7日(月) 議会運営委員会
- 11日(金) 6月定例会(第1日)
議案上程
(条例、補正予算 規約)
- 議会全員協議会
- 14日(月) 6月定例会(第2日)
一般質問(5人)
- 15日(火) 6月定例会(第3日)
一般質問(4人)
- 総務文教常任委員会
- 厚生常任委員会
- 17日(木) 6月定例会(第4日)
議案審議、採決
- 広報調査特別委員会

暑中お見舞い

申し上げます

和水町議会議員一同